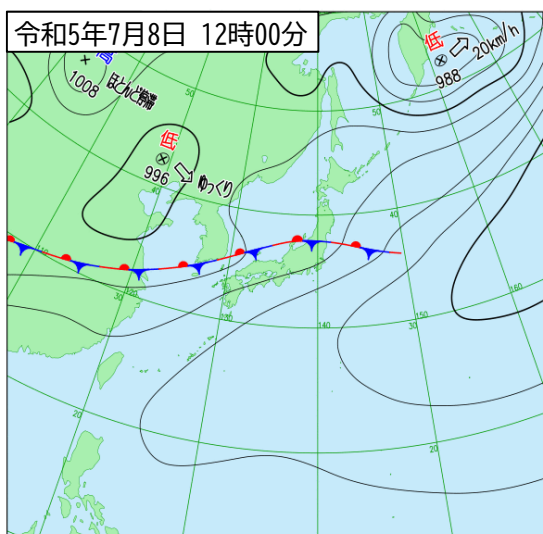
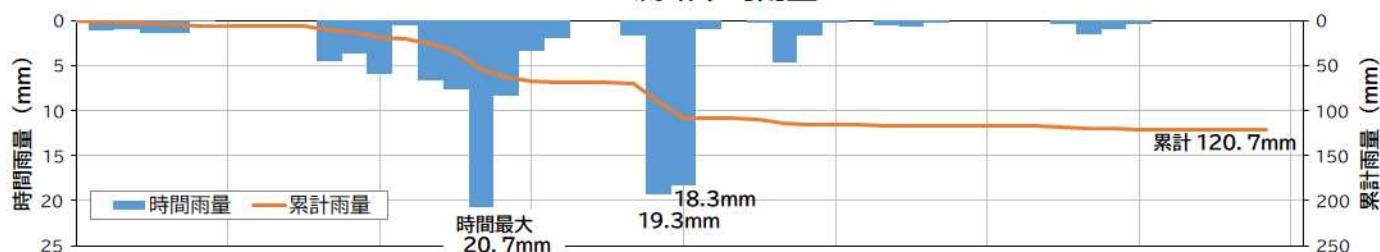


# 令和5年7月8～9日 梅雨前線に伴う防災操作の概要

- 梅雨前線が西日本から東北地方にのび、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となり、局地的に雷を伴った激しい雨が降りました。
- 徳山ダム流域では、7月7日の夜のはじめ頃から雨の降り始め、流域平均総雨量は約120.7mmを観測しました。特に8日15時から16時にかけては流域平均で最大時間雨量20.7mmの降雨を観測しました。
- この降雨の影響で、ダムへの流入量が増加し、洪水量に達する出水となり、洪水調節を実施しました。



流域平均雨量



徳山ダムの状況

